



寿光園だより

第 0071 号
令和元年12月 発行
制作：寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



令和元年度敬老会

100年続いたその笑顔
もっと見せてください



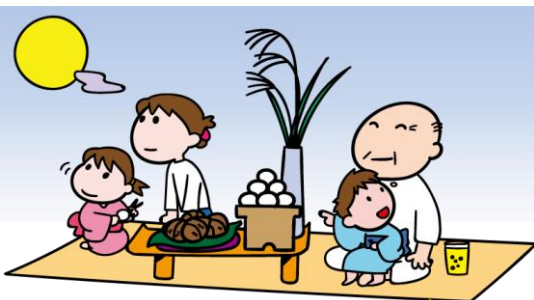
9月27日、令和となり初めての敬老会が執り行われました。矢吹町長野崎吉郎様をはじめ、恵愛福祉会理事長会田征彦先生や多くの入所者御家族様にも御出席していただき、本当にありがとうございました。平成3年に開所以来、毎年敬老会を開催させていただきましたが、「今年は令和元年だから、何か特別のような気がする」という気持ちは、職員のみならず入所者様にもあるようで、例年よりも拍手が盛大に聞かれました。来年もまた一層の笑顔と拍手で、皆様の御健康と御長寿を、職員一同で御祝いさせていただきます。



秋と言えば「御月見」です。春の節分や夏の七夕と並ぶ季節行事です。満月を見ながら秋の豊穰に感謝します。寿光園

でも入居者の皆様に季節を感じていただきたくて月見団子やススキを用意して施設内に飾らせていただきます。

「昔は御団子だけではなく、栗や枝豆、里芋の煮物なんかもお供えした」と教えてくださる入所者様もおられました。きっとその家独自の団子の形やお供えのものもあったのでしょ。御団子を見ながら、入所者様同士でたくさん話の華が咲いておられました。



中庭・四季風景

特別養護老人ホーム寿光園の正面玄関口から入ると、まずは大きな食堂があり、その一角に自動販売機と中庭への入口を見つけることができます。大きな中庭ではありませんが、ここは入所者様にとって「憩いの場所」となっています。春になればツバメが飛び交い巣を作ることもあります。梅雨の時期には紫陽花が咲き、秋ともなれば自生した彼岸花も咲きます。今年の夏はプランターに幾つかの野菜を植えて、収穫できたそれを食べていただくこともできました。まだ温かい初秋の頃にはテーブルと椅子を並べてお茶会も開催しました。

